

岡崎のまちづくり情報をお届けします!

りた便り vol. 40

NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 機関紙〔2010年1月1日〕

特集: 日本多邸を考える市民会議

新年明けましておめでとうございます。私たち岡崎まち育てセンター・りたは、平成18年の法人設立以来、4年目の年越しを迎えました。4代目事務局長に就任した三矢としては初めての年明けとなります。マスコミから流されるニュースを聞けば、不況の波が地域経済にも影響を与え、痛ましい事件が飛び込んできますが、こんな時代だからこそ、NPOの活動が躍進し、日本の地域社会が生まれ変わるべきだと考えます。

そこで大風呂敷にはなりますが、新年の抱負として次の3点を掲げたいと思います。第一に「地域問題へのアンテナを高める」です。4年目のりた事業がマンネリ化することを厳しく批判し、絶えず岡崎の課題や希望を把握ながら「人育て」につながる事業に力を注ぎます。第二に「地域経済への視野を開く」です。物の豊かさから心の豊かさへと転換が言われていますが、必ずしも岡崎のまちが心豊かな暮らしに満ちているとはいえません。そこで「心豊かに生きることにに対して積極的にお金を使う」という常識をつくり、その先に地域経済の再生を目指す事業を模索します。第三に「りたが雇用の受け皿として成長すること」です。現在のりたは、正規職員6名、パートタイム職員28名を雇用しています。既存の職員はもちろん「りたで働きたい」と願う人々が安心して働ける職場として成長させます。

簡単ではありますが、以上を新年の挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願ひします。



旧本多邸

りた 2009 年度 事業 報告

活用検討ワークショップ

昨年度に引き続き、2012 年に東公園に移築復元される旧本多邸の活用法を考える市民会議（ワークショップ）の企画・運営を行いました。今年度開催した計 4 回のワークショップと、岡崎市図書館交流プラザ Libra2 階お城通りギャラリーにおける調度品展示会の概要について報告いたします。



撮影：小野吉彦氏

旧本多邸 DATA

徳川四天王・本多忠勝の子孫で、最後の岡崎藩主・本多忠直の孫にあたる本多忠次氏が、東京都世田谷区野沢に 1931-32 (S.6-7) 年に建設した木造 2 階建て住宅。スパニッシュ様式、チューダー様式の影響が見られる建物、ジャコビアン様式、アールデコ様式の調度品は、GHQ の接收や 70 年の時を経て手が加えられることなく建設当時の面影をそのまま遺しています。忠次氏の住まいづくりの過程やこだわり、GHQ の住宅接收などに関する史料の存在も含め、貴重な近代化遺産です。

旧本多邸の建設予定地



事業スケジュール（予定）

2008	2009	2010	2011	2012
------	------	------	------	------

旧本多邸を考える市民会議

活用方法の検討

旧本多邸
活用基本
計画策定

管理・運用の検討

文化財の学習

開館

ハード整備

用地造成

建築工事

第 5 回 6/6 (日) 「建設予定地を歩いて活用イメージを膨らませる」@東公園内 Animo



旧本多邸の建設が予定されている東公園南西部の敷地周辺を歩き、建物の位置や大きさ、周囲との関係を確認しました。その後 4 つのグループに分かれ、東公園の中での旧本多邸のあり方や具体的な活用イメージについて意見交換し、岡崎の歴史・文化に力を取り戻すための「集い」「学び」「遊び」の場として位置づけて活用するという方向性が共有されました。

第 6 回 7/26 (日) 「旧本多邸の調度品を見に行こう」@岡崎市総合現業事務所

昨年度のワークショップで、「ぜひ調度品に触れてみたい」という参加者の声に応える形で「調度品見学ツアー」を企画しました。最初に、取り壊される寸前の本多邸の保存に尽力された杉山径子さんより、旧本多邸の特徴と歴史的価値についてご説明いただいた後、旧本多邸の団欒室、食堂、茶室、書斎で使われていた調度品や、スタンドグラス、照明器具などに触れ、細部にまで行き届いた本多忠次氏のこだわりを堪能し、最後に 4 つのグループに分かれ、旧本多邸の活用法を部屋ごとに吟味しました。



第7回 8/8(日)「歴史的建物活用の先進事例視察」@名古屋市東区文化のみち

江戸時代から昭和初期に建てられた歴史的建造物や街並みが残る名古屋市東区「文化のみち」を訪れ、歴史的建造物の積極的活用を行っている「文化のみち二葉館」、「文化のみち榎木館」の視察を行いました。「見せる」ことを主体に置いた二葉館と、「使う」ことに重きを置いた榎木館。旧本多邸では、両者のいいところを取り入れ、部屋ごとに活用方法を分けて検討するという方向性が確認されました。また、歴史の詰まった建物を管理・運営している方々に直接触れ合うことで、参加者の方々の旧本多邸の活用を自ら担っていこうという機運が高まりました。

▼榎木館



▲二葉館



第8回 10/25(日)「旧本多邸の活用方針を考える」@Libra 創作室



この2年間の市民会議の取り組みについて振り返りをした後、これまでの意見や提案を踏まえて作成された「旧本多邸活用計画(素案)」の内容を吟味し、意見交換をしました。最後に旧本多邸のあり方や活用の理念について今一度議論をし、「これまで受け継がれてきた本多家や岡崎の歴史、および旧本多邸に込められた忠次氏の想いを大切に受け止め、未来に繋げていくこと」、「歴史まちづくりの拠点として、多様な人々を繋ぐ交流の場に育てていくこと」を大切にする、旧本多邸の活用計画に対する市民提案をまとめました。

展示会 10/15(木)-27(火)「忠勝～忠直～忠次 本多家の想いが遺したもの」@Libra

岡崎市図書館交流プラザLibra2Fお城通りギャラリーにて、旧本多邸で実際に使われていた調度品の展示を行いました。本展示会に先立ち、第6回市民会議(7/26)で調度品に触れた参加者の方からサポーターを募り、展示会の企画やタイトルを考案したり、会期中に「岡崎きらり隊」の方々と共に、ガイドボランティアをしていただきました。12日間で1,115名の来観者があり、うち625名の方々にガイドの説明を聞いていただき、旧本多邸の魅力をより多くの人に知ってもらいよい機会となりました。



■おわりに

今年度の市民会議は、前年度に出された要望を盛り込み、建設予定地の確認、調度品見学ツアー、先進事例視察、展示会の実施など、バラエティに富んだ内容となりました。「現地を歩く」「現物に触れる」ことで、より具体的かつ身近に旧本多邸を感じることができ、議論の中身も深まりました。旧本多邸が、市民の愛着が積み重なり、大切に活用される施設になるよう、今後も市民参加で検討する機会が続いていきます。来年度は、「旧本多邸の価値をより正しく知る」「他地域の歴史的建造物活用事例から学ぶ」中から、旧本多邸の管理・運営について議論をしていく予定です。

□もっと詳しく知りたい方は、旧本多邸だよりも併せてご覧下さい。岡崎市図書館交流プラザLibra2F 情報コーナー、各地域交流センター情報コーナーに配架されています。岡崎市教育委員会社会教育課 HP : <http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu5648.html>でもダウンロードできます。

おススメイベント情報

一見の価値あり！ぜひご参加下さい！

- ①『りぶらまつり実行委員会』
日時:1月16日(土)18:00-20:00
場所:りぶら102会議室
主催:りぶらサポータークラブ
内容:2・2728に開催のりぶらまつりの企画の詳細を検討します。
- ②『なごみんチラシづくり講座』
日時:1月16日(土)14:00-16:00
場所:岡崎市北部地域交流センター・なごみん
主催:岡崎まち育てセンター・りた
内容:市民活動団体向けの広報力アップ講座(広報実務の基本とチラシづくりのコツ伝授)を開催します。
- ③『りぶらサポータークラブ対話集会』
日時:1月23日(土)9:30-12:00
場所:りぶら301~303会議室
主催:りぶらサポータークラブ
内容:よりよいLibraのあり方について、市民同士が語り合う場を支援します。
- ④『東岡崎駅北側にぎわい広場ワークショップ第3回』
日時:1月24日(日)9:30-12:00
場所:明德保育園
主催:岡崎市東岡崎藤川地区整備課
内容:具体的な東岡崎駅北側広場構想案を提示し、方向性を確認します。



専門家派遣

まち育ての現場に赴きます。

- ①『竜美っ子あんあんクラブ会議』
日時:1月16日(土)13:00-15:00
場所:竜美丘公民館
主催:竜美っ子あんあんクラブ
内容:竜美丘学区の防犯活動に関する会議に協力し「子どもの犯罪からの安全」に関する研究を進めます。
- ②『春日井カエル65大学 第6回「広報力アップ講座」』
日時:1月17日(日)14:00-16:00
場所:春日井市民活動支援センター
主催:春日井市民会議カエル65
内容:市民活動の広報力をアップする講座の講師を派遣します。
- ③『有松まちづくり憲章ワークショップ「まちづくり憲章をつくらう!」』
日時:1月21日(木)19:00-21:00
場所:有松絞り会館
主催:ありまつプロジェクト
内容:有松まちづくり憲章をつくるワークショップにファシリテーターを派遣します。
- ④『藤川の景観まちづくりにおける勉強会 第4回』
日時:1月23日(土)14:00-16:00
場所:藤川地区・野村邸(米屋)
主催:東海道藤川宿まちづくり協議会
内容:藤川地区に残る歴史的建築物の活用方法を考える勉強会。延藤安弘先生(愛知産業大学大学院教授・まちの縁側育くみ隊理事長)より日本各地のまちづくり事例を学びます。
- ⑤『なごや★子ども City2010 ワークショップ』
日時:1月31日(日)13:30-16:30
場所:なごやキッズステーション
主催:名古屋子ども自立支援室
内容:名古屋開府400年を記念する事業として、子どもたちがつくる「なごや★子ども City2010」を2010年8月に予定しています。8月に実施する会場計画(まちづくり)を考えます。



助成金情報

お役立ち！助成金情報です。

- ①『平成21年度外務省委託 研究フェロープログラム』
対象:国際開発研究、開発援助関連分野
〆切:2010年1月15日
詳細:http://www.fasid.or.jp/chosa/jyosei/kenkyu_21.html
- ②『第18回「住まいとコミュニティづくり活動助成」』
対象:・住環境の保全・向上
・コミュニティ施設の提案・創造
・地域の防災・防犯
・入居者参加の住まいづくり
・その他豊かな居住環境の実現につながる活動
〆切:~2010年1月15日(必着)
詳細:<http://www.hc-zaidan.or.jp/josei/josei18/>
- ③『平成22年度地球環境基金助成金募集』
対象:民間団体が行う環境保全に資する活動
〆切:2010年1月4日~1月25日
詳細:http://www.ercago.jp/jfge/subsidy/application/h22_info.html
- ④『マイクロソフト NPO 協働プログラム 2010』
対象:
テーマ1:インターネットの安心・安全な利用を推進する活動
テーマ2:ITの新たな可能性を拓ける活動
〆切:~2010年2月8日 24:00 必着
詳細:<http://www.microsoft.com/japan/citizenship/ca/npo2010/default.mspx>

NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 会員募集中

団体会員 (年会費 10,000 円)
個人会員 (年会費 3,000 円)
☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局
です

明けまして おめでとうございます。
今年はどんな一年になるでしょう？
楽しみですね♪

地域交流センター稼働率 11月

	交流スペース	活動室 (ホール・調理室含む)	プレイルーム
なごみん (北部)	786	3,481	1,022
よりなん (南部)	1,348	4,272	1,240
やはぎかん (西部)	2,128	5,596	811

単位:人



〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
図書館交流プラザ(Libra)2階 市民活動センター
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた
☎(0564)23-2888 Fax(0564)23-2898